

## 農林水産商工委員長報告

令和3年9月定例会（10月8日）

農林水産商工委員長報告をいたします。

今定例会において農林水産商工委員会に付託されました議案のうち、既に9月9日に報告いたしましたものを除く議案の審査結果等について報告いたします。

本委員会に付託されました議案は、「令和3年度島根県一般会計補正予算（第6号）」など予算案4件、「県の行う建設事業に対する市町村の負担について」など一般事件案8件であります。

これらの議案について、執行部に説明を求め、慎重に審査いたしました結果、第121号議案「県の行う建設事業に対する市町村の負担について」の一般事件案1件については賛成多数により、また、その他の議案については全会一致をもって、原案どおり可決・承認すべきとの審査結果でありました。

全会一致とならなかった第121号議案「県の行う建設事業に対する市町村の負担について」では、市町村を跨ぐような広域的な事業は本来県の負担で行うものであり、市町村の負担が無いようにすべきである。県の責任のあり方を再検討してほしいとの理由から反対であるとの意見がありました。

議論を経て、最終的には挙手による採決を行ったところ、賛成多数により、原案どおり可決すべきとの審査結果でありました。

次に、議案の審査過程における執行部からの説明、委員からの質疑、意見等のうち主なものについて報告いたします。

第99号議案「令和3年度島根県一般会計補正予算（第6号）」についてであります。

まず、農林水産部所管の「円滑な木材流通対策事業」については、委員から、林業事業体と製材工場とは需要と供給についての情報交換は今までなされてこなかった経緯があるので、この事業を機に連携できるように取り組んでほしいとの意見があり、執行部からは、流通対策についてはこれまで踏み込めてなかったもので、しっかりと取り組んでいきたいとの回答がありました。

次に、商工労働部所管の「ものづくり産業総合支援事業（ものづくり産業脱炭素化促進事業）」については、委員から、市場動向や県内産業への影響等調査のヒアリングの際は県も同行し、企業からのニーズを把握してほしいとの意見があり、執行部

からは、委託業者任せにせず県も同行し、直接企業からの意見を把握していきたいとの回答がありました。

次に、第126号議案「令和3年度島根県一般会計補正予算（第7号）」のうち、農林水産部所管分についてであります。

「県産米消費拡大キャンペーン事業」については、委員から、島根県のみで消費拡大に取り組んでも効果が少ないと考えるので、国に対してしっかりとした対策について要望してほしいとの意見があり、執行部からは、県産米の在庫を減らし県内農家を支援することが事業目的であるが、国に対して消費拡大等の重点要望もしていきたいとの回答がありました。

更に、別の委員から、例えば各保育所等で子供たちのおやつとしておにぎりを提供してもらい、その米を無料配布してはどうか、小さい頃からもっと多く米飯に親しみを持つことで大人になったとき、より米の消費拡大につながるのではとの意見があり、執行部からは、提案について検討していきたいとの回答がありました。

次に、第99号議案「令和3年度島根県一般会計補正予算（第6号）」及び第126号議案「令和3年度島根県一般会計補正予算（第7号）」のうち、農林水産部・商工労働部共管分についてであります。

「飲食需要回復・拡大支援事業」については、委員から、どのような店舗に支援が届いたか分析評価は行っているのかとの意見があり、執行部からは、保有しているデータの確認・分析について検討していきたいとの回答がありました。

別の委員からは、この事業は景気刺激策としては非常に効果があると認識しているので、販売期間中に飲食券が売り切れないようにしてほしいとの意見があり、執行部からは、1日あたりの販売枚数の実績を踏まえ、余裕をもって対応しているとの回答がありました。

次に、報告事項など所管事項調査における質疑、意見等のうち主なものについて申し上げます。

まず、農林水産部所管事項についてであります。

「米の需給及び令和3年産米価格の動向について」では、執行部から、コロナ禍の影響により業務用需要が減少し、民間在庫量が適正水準を3年連続上回る状況にあり、令和3年産の米価が下落しているとの報告を受け、当委員会として、米の需給改善及び価格の安定に向けた対策を国に対して要望すべきとの結論に至り、全会一致をもって意見書を提出すべきとの結果でありました。

なお、この意見書については、後ほど白石議員から提案理由を説明いたしますので、ご賛同いただきますようお願いいたします。

次に、労働委員会事務局所管事項についてであります。

委員から、新型コロナウイルス感染症の影響で経営が厳しくなる中、人員削減につ

いて雇用者や労働者からの相談が予想されるので、責任ある対応をお願いするとの要望がありました。

以上、農林水産商工委員会における審査の概要等を申し述べ、委員長報告といたします。